

M1 Reference Speaker System

Creating a new era
in music reproduction

自然そのままのサウンド、きめ細かいディティール感、空間的な広がり
りとインパクト、深い低域、目が覚めるような高速な応答性、きわめて
広いダイナミックレンジ。そうしたオーディオフィールの夢を叶える
リファレンス・スピーカーシステムです。



Specifications

M1 Reference Speaker System

- エンクロージャー型式 3ウェイ・3スピーカー
フロント・バスレフ・フロア型
- 出力音圧レベル 100dB/W/m
- 最大音圧レベル 126dB (200W)
- 定格インピーダンス 8Ω
- 再生周波数帯域 20Hz ~ 20kHz
- クロスオーバー周波数 80Hz, 1.8kHz
- 入力端子 MID, HI, LOW
- 寸法 幅 560× 高さ 1550× 奥行き 470mm
- 重量 150kg (1本)

Driver units

カスタム仕様の高性能率ドライバーユニット

M1は、わずか1Wの電力で100dBもの音圧レベルを実現するきわめて高性能なシステム。これほどの余裕があれば、ダイナミックレンジが圧縮されることなく空気感に溢れた再生が可能になり、ハーブシコードやリュートの繊細な音の表情からフルオーケストラのクレッシェンドに至るまで、驚くほどの忠実度をもって伸びやかに再現されることとなります。M5 TELIKOS モノラル・パワーアンプリファイアー4台でのバイアンプ駆動によってそのポテンシャルが最大限に引き出される設計になっています。その高性能を担うドライバーユニットはいずれもダニエル・ヘルツ仕様のカスタムメイド。高域は奥行きわずかに7.5cmのホーン型で、1.8kHzから20kHzの帯域を115dB/W/mの能率でドライブします。80Hz ~ 1.8kHzの中音域を12インチ、80Hz以下は大口径18インチのドライバーユニットが再現します。



Cabinetry

入念に磨き上げられた秀麗なキャビネット



キャビネット内部は2セクションに分かれ、高域と中域、低域にそれぞれ最適の空気ボリュームをそなえたチェンバーを設けています。またウーファーのチェンバーには試験を重ねて入念にチューニングされたポートを2個そなえ、ダニエル・ヘルツが理想とする低域の再現を可能にしています。クロスオーバーネットワークはスピーカー内の振動からアイソレートするように設置され、ベンチレーション・パネルを通じてアクセスすることも可能。将来の仕様変更やメンテナンスの必要性に備えています。



秀麗な光沢が印象的なキャビネットはブラック・ピアノ・フィニッシュ。各層を完全に乾燥させてから研磨し、コーティングを重ねてさらに研磨するという、高度な職人技をふまえた入念な工程のもと、実に8週間をかけて仕上げられています。ダニエル・ヘルツのスピーカー・キャビネットは、著名なピアノ・メーカー“ペトロフ社”の工場にて組み上げられています。ペトロフは、1864年、かのモルダウ川が流れるチェコ・ブラハに創業、チェコを代表する企業の一つとなっています。早くからその美しい響きに魅せられていたマーク・レヴィンソンは、ペトロフの卓越した音づくりの信念をスピーカーづくりにも活かしたいという思いのもと、2009年からコラボレーションを開始しています。ペトロフの工場では、レヴィンソンの主催で小さなピアノの演奏会を開き、その音を録音してダニエル・ヘルツのシステムで即時再生するといったイベントも行われています。

カタログの記載内容は2015年9月現在のものです。製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

Daniel Hertz 社製品 輸入販売元

株式会社アーク・ジョイア 〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 70-8 ノアビル
Tel.03-5273-7381 <http://www.arkgioia.com>

ArkGioia